

東北地方 1か月予報

(4月9日から5月8日までの天候見通し)

平成17年4月8日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

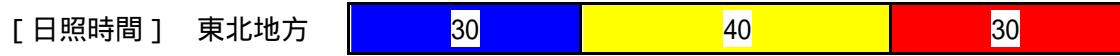
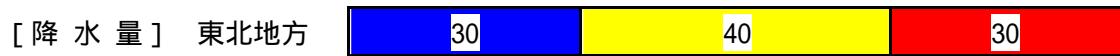
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

期間のはじめは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。おそ霜の降りる恐れがあるでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

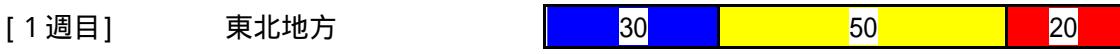
週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 4月 9日(土) ~ 5月 8日(日)

1週目 : 4月 9日(土) ~ 4月 15日(金)

2週目 : 4月 16日(土) ~ 4月 22日(金)

3~4週目 : 4月 23日(土) ~ 5月 6日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は4月15日

3か月予報:4月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	10.3	149.0	178.2	8.3	9.6	11.4
新庄	10.0	106.0	157.5	7.2	9.0	11.5
若松	11.6	69.2	181.3	9.0	10.7	13.0
深浦	9.6	103.2	175.8	7.7	8.9	10.6
青森	9.5	69.6	189.9	7.3	8.6	10.6
むつ	8.6	91.3	195.2	6.5	7.8	9.7
八戸	9.7	68.5	195.9	7.5	8.9	10.8
秋田	10.7	126.7	174.5	8.6	9.9	11.8
盛岡	10.0	104.7	178.9	7.6	9.1	11.2
宮古	10.0	100.4	188.8	7.9	9.3	11.0
酒田	11.3	117.3	176.6	9.2	10.5	12.4
山形	11.5	74.6	184.0	9.0	10.6	12.9
仙台	11.5	103.7	189.4	9.4	10.8	12.6
石巻	10.6	98.6	191.5	8.5	9.8	11.7
福島	12.9	82.7	189.1	10.4	12.1	14.2
白河	11.4	108.8	182.3	9.0	10.6	12.6
小名浜	12.3	136.2	186.2	10.4	11.7	13.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.4	87~115	96~104
東北日本海側	-0.5~+0.4	88~113	95~105
東北太平洋側	-0.3~+0.4	81~115	96~104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.7	-0.7~+0.6	-0.4~+0.7
東北日本海側	-0.8~+0.7	-0.7~+0.5	-0.5~+0.6
東北太平洋側	-0.6~+0.9	-0.6~+0.7	-0.4~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成17年4月8日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(4月9日~5月8日):

期間のはじめは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。おそれの降りる恐れがあるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(4月9日~4月15日):

低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間のはじめは晴れの日もあるでしょう。雨による雪どけが進みますので、河川の増水や積雪の多い所ではなだれにも注意が必要です。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(4月16日~4月22日):

天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(4月23日~5月6日):

天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

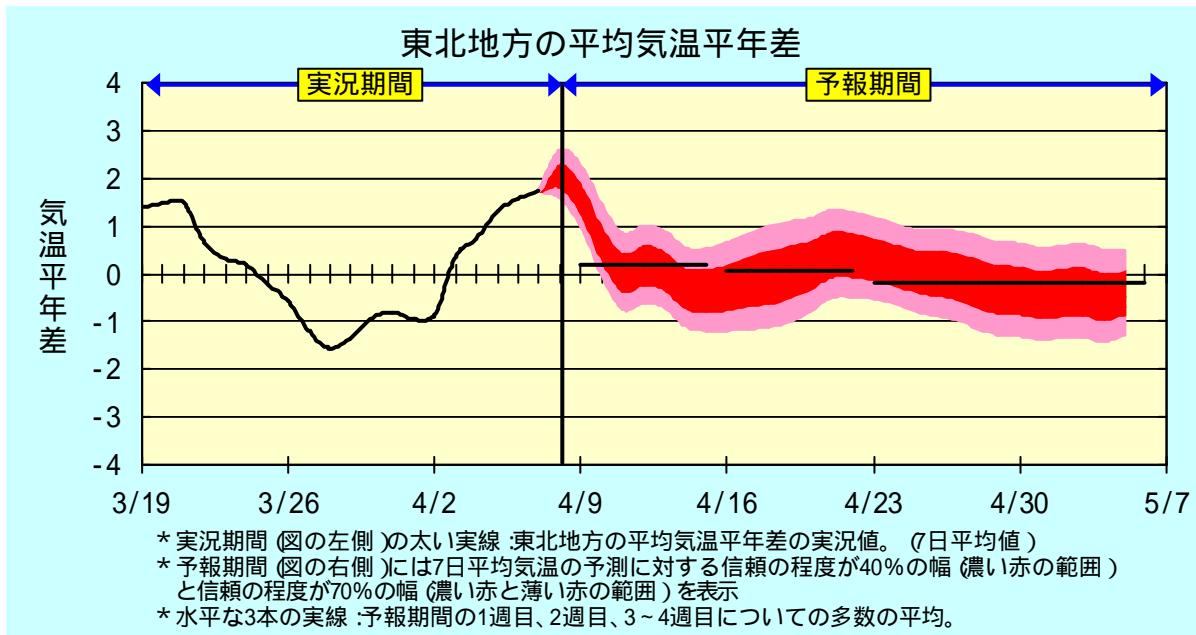
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.4日	3.7日	4.0日	7.7日
東北太平洋側	16.5日	4.2日	4.2日	8.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

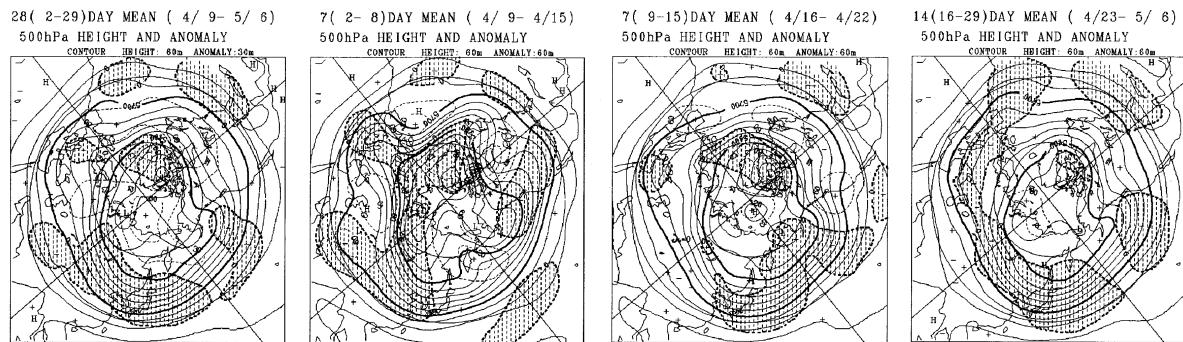


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本を含む中緯度帯は広く東西に負偏差となるが、極付近は正偏差となり、寒気は放出傾向。日本付近の偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変化する見込み。

1週目は、九州を除く日本付近は正偏差となるが、日本の西は負偏差で気圧の谷となっており前線や低気圧の影響を受けやすい。2週目、3~4週目は、1か月平均と同様に極から高緯度にかけて正偏差となり、日本付近は負偏差となるが、偏西風の流れは順調で天気は数日の周期で変化する見込み。

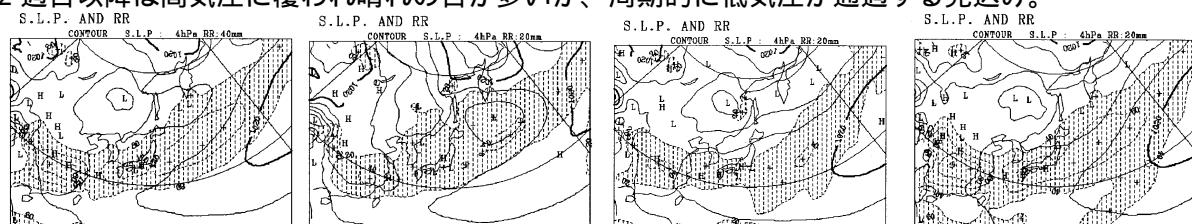


地上気圧と降水量：

月平均では、日本の南岸にまとまった降水域が予想され、低気圧が周期的に通過する見込み。

1週目は、日本の西と東に低圧部があり、日本付近は降水域がかかり、曇りや雨の日が多い見込み。2週目は、日本付近への高圧部の張り出しが平年に比べやや強い。3~4週目は、日本付近はほぼ平年並みの気圧配置で、月平均と同様に日本の南岸にはまとまった降水域が東西に広がる。

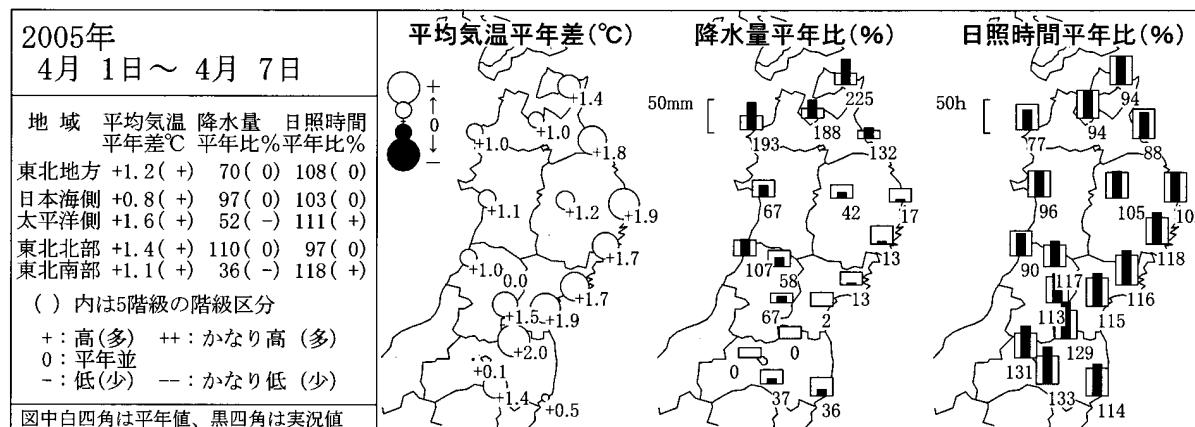
2週目以降は高気圧に覆われ晴れの日が多いが、周期的に低気圧が通過する見込み。



4. 最近1週間（4月1日～4月7日）の天候の経過

この期間、移動性高気圧に覆われる日が多かったため、概ね晴れるところが多かった。2日から3日にかけてと7日の夜には寒冷前線が通過し、東北北部や東北日本海側で雨となるところがあった。また、6日は日本の南にある高気圧から温かい空気が入り込み、各地で今年初めての夏日となり、仙台、石巻、白河では日最高気温が25以上となった日の最も早い記録となった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)